



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

雑報. 地球 1935, 23(2): 162-164

ISSUE DATE:

1935-02-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/184384>

RIGHT:

喜多村俊夫 静岡地方に於ける果樹栽培地域の研究

## 雑報

### ○印度に於ける農産物生産統制

一九三四年四月デ

リーに於ける經濟會議に右の生産統制が議せられた。

一、米 世界の現状から印度各地は現在作付反別以上に増加をしないこと、それは世界は現在米穀の過剰生産に陥つてゐるといふ意見によつたが、しかし孟買州以外の各州はすべて印度は米穀生産過剰にあらずとのべた、殊にビルマ代表はもし印度に於けるビルマ米の需要が現在の程度を持続するに於ては、ビルマに於ける米が拂底するとのべ、米の生産制限は申合せが出来なかつた、同時に外國輸入米に一モンドにつき一留比四安の課税をなさんとの意見に對して、商務長官はそれは苛重である、もしこれをやると諸外國に於ける印度農産品全部に報復の惧ありと警告した。

ビルマ・マドラス・ベンゴール・中央等各主要産地は現行米輸出税を不當なりとし之が撤廢を主張したが成立しなかつた、同時に國內での販路擴張をはかることが肝要だといふので、品質の改良をはかり鐵道の運賃を引下げること努力しやうと申合した。

二、小麥 小麥の作付反別三千三百萬噐に制限しやうとの議も亦不成立になつた、パンジャブ及シンドの代表者はこの兩

地方の主要農産物であるから之を制限することは以ての外だといつた。

三、棉花 については作付反別の増加と品種の選擇を考へ輸出並に國內消費に適する *Vatum* 種の栽培増加及シンド地方に産する長纖維の棉種を奨励することになつた。

四、黃麻 に關してはベンゴール地方政府の組織せる特別調査委員にまかせる事になつた。

五、落花生及カスター 印度の落花生は二百五十萬トン乃至三百三十萬トンである、一九三三年五十四萬六千噸を輸出したが更に増産の餘地あるべしと。

六、亞麻種 作付反別三百二十五萬噐で四十萬トン内外を産出する、これは品質優良だから猶二百萬噐の面積を増加することにきめた。

七、烟草 國內需要六百萬封度を確得するために、作付面積三萬噐を増すこと、其他甘蔗は未だ重要性がない、畜産物・果實及蔬菜類いづれも増産を奨励し保護關稅をかけることにきめた。

### ○パレスティン

パレスティンに猶太民族の國を再建するザイオニズムの運動は、パレスティンに残住せる僅少の猶太人の希望たりしのみならず、多年外國で迫害されてゐる同族の熱望であつて、本國を追はれて二千年間に亘る彼等の希望は彼等自身の努力によつて其再建は漸次具體化した、最近では一八九七年バスの第一回ザイオニスト大會で、

本會は猶太民族の爲に人民法により、保證された母國をパレスティンに建設する爲努力することを誓ふ、この目的を達するために

(イ)猶太人農工労働者によりパレスティンを植民化すること  
(ロ)各國の法律に反せざる範圍で、國際的及國內的に適當な方法を採用し、猶太人の結成聯結をはかること

(ハ)ザイオニズムの目的達成にとり必要な國に於ては其國の政府の同意を得て努力すること

かういふ決議をやつたが、一九一七年英國外相バルフォア卿は英國の名で英國政府はその母國再建に同情すると共に目的の達成の爲めにあらゆる努力を惜まないと言明し、一九二〇年四月、サンレモの最高會議は同卿の右の宣言を確認したので、始めて英國はパレスティンの行政に密接の關係ができた、次で一九二二年五月聯盟理事會はパレスティンを英國の委任統治の下に置いた、所が現在パレスティンに居住し人口の七割に達するアラブ族は、イラク同様のアラブ人の獨立國家を作れることを希望した、しかし英國の保護の下にパレスティンに入つてきた猶太人は多年の經驗と豊富な財力で著々パレスティンの土地を買ひ占め母國化し、經濟的優位でアラブ人を壓迫したが、無智なアラブ人は多年の努力で開拓した土地を僅の利益に誘はれて之を猶太人に賣却し、今日では猶太人の驅使の下に小作人又は雇人になり下て、農業をするか猶太人の興しつゝある新工業の下働に甘んぜざるを得ざる狀

態となつたので、アラブ人のつくれる在エルサレム常設回教最高會議は猶太人に土地をうるなといひ、國民教育の完成を叫び英國に對しては、猶太人援助の政策に極力反對をつゞける年中には一大示威運動まで起した。

パレスティンの人口は百三萬八千のうちアラブ人は七十二萬人であるが猶太人は二十一萬で、最近ヒットラーの猶太人排斥の結果、一九三二年には九千五百五十三人からの移住民の増加があり、一九三三年には三萬九千の猶太人が移つてきた、一人平均携帶額二千磅と見積られ、多くは中歐からの追放された猶太人であつて、最近の資本家移民はますます増加してきた。

かうしたことは彼等の母國建設が段々具體化したこと、中歐の猶太人排斥の結果であつて、かくてはアラブ人の反抗が恐ろしいので、英國政府は最近に猶太人の入國に制限を加へた、しかし密かに入國するものは止めやうがない様子である。

従つてパレスティンに於けるアラブ人と猶太人との間には猶争ひが絶えないであらうしかし猶太人は富んでゐるから、海外よりの猶太人の投資もあつて最近二ヶ年の資金流入は、一九三二年に三百二十五萬磅、一九三三年に六百萬磅に上り、農業・建築・商工業・運輸業に投資され、委任統治以後五十萬磅の投資になつてゐるといふ。

現在の産業は牧農であるがオレンヂの輸出は大きい。交通運輸も比較的整備してゐる、將來はアラブ人にかはつて、パレ

スタインが猶太人の國として亞細亞に建設されることであらう。

### ○間島地方の貿易

間島地方の貿易は從來交通運輸機關の整備せざりし爲、當地方の一局部に限られ、北鮮經由貿易の獨占舞臺の觀を呈し陸路馬車運輸によりし吉林系は僅に土產品の移動に止まり、露領とは杜絶してしまつてゐる、所が從來北鮮の經由は清津と雄基の兩系統にわかれ、清津は龍井へ、雄基は珲春へ聯絡してゐたが、滿洲事變以來當方面の交通運輸事情亦一變し昭和八年九月には京圖鐵道本線の完成を上げ、九年四月には支線朝陽川より龍井經由、開山屯に至る（天圖輕鐵改修廣軌となる）ものも開け、一面、新しい江岸の圖們驛を起點として北進、寧安をへて東京城寧古塔をへて北鐵東部線牡丹江站に至る鐵路の竣工も目捷の間にあり加ふるに間島内の自動車交通網が出現して、今や經濟動向は劇期的變化を招來せんとしてゐる。

京圖鐵道の終端たる龍津は築港工事の完成の後補助港雄基

と共に南陽及圖們驛をへて奥地方面に對する貿易の優勢を占むべきは當然で從來の清津系はこれにまけるだらうと考へられる、けれども清津は山來北鮮都市の中心地で、背後に軫城平野及水量豊富な軫城川があるから同港は貿易港及工業都市として將來の飛躍が期待されてゐる。

本年間島地方の貿易總額は千五百四十四萬圓に達し、入超實に七百八十八萬四千四百圓にもなつたが、この莫大な輸入超過は主として鐵道工事關係及建築諸材料の輸入、多數勞働者の入込んだ結果であるが、一面、地方經濟界も自然的膨脹をやつたのであるが、其對外貿易の大部分は朝鮮で輸出入共に絶對的である、日本これにつき、合衆國は第三位にある、重要輸出品は大豆・白豆・小豆・粟等の農産物で木材これにつぐ、輸入では綿布・綿・綿糸・綿製品等百萬圓で輸入の八分をしめる、小麦粉又は水産物これにつき酒・石油・機械・雜貨類等に及んでゐる。